

基本目標	基本方針	モニタリング指標				成果指標				次回の評価方針 【計画改定時】							
		指標	実施項目	平成25年度 【計画策定時】	平成30年度	指標	平成25年度 【計画策定時】	平成30年度									
1 安心して住み続け生活できる交通基盤の実現	1 防災・減災に効果的な都市計画道路の重点的整備	①整備対象道路計画に対する事業着手、整備完了延長割合	骨格防災軸の整備予定 主要延焼遮断帯	路線区間	西3・3・3（西3・4・8以西）	未着手	未着手	①災害に強いみちづくりへの満足度	6.2%	整備未完了のため評価しない	事業内容の性質上、整備期間が長期間となるため、評価指標及び評価時期等について再検討が必要						
					西3・2・6（西3・4・11以南）	整備済	整備済										
					西3・2・6（西3・4・11以北）	事業中	事業中										
					西3・3・14（西3・2・6以西）	未着手	未着手										
					西3・3・14（西3・2・6以東）	事業中	事業中										
					西3・5・4（新青梅街道）	整備済	整備済										
	2 まちづくり・建築行政と連携した生活道路の空間確保の推進	①生活道路整備の制度設計 ②上記制度の活用件数				-	-										
		①UD導入促進策の実現状況	UD導入促進策	・ユニバーサルデザインタクシー導入促進事業計画		未策定	平成26～28年度まで策定済	②UDタクシー台数 (ジャパンタクシー含む) ※市内タクシー会社ヒアリング	2台	12台	↗	計画改定時に評価予定					
				・福祉車両導入促進事業計画		-	平成29年度策定済										
		3 移動制約者の外出支援策の推進	②交通空白地域面積 (人口割合で算出)				鉄道駅300m圏内	9.0%	9.2%	③交通空白地域人口	公共交通空白地域 (面積割合で算出)	2.0%	1.6%	↘	計画改定時に評価予定		
鉄道駅300m圏外かつバス300m圏内	81.1%						82.4%										
公共交通空白地域	2.0%						1.6%										
公共交通不便地域	7.9%						6.8%										
2 誰もが安全に移動できる交通環境の実現	4 駅周辺の安全な歩行空間確保の推進	①バリアフリー計画策定駅数 ②上記での事業実現状況	バリアフリー化の現状	駅名	田無駅	北口	○	○	○	○	○	田無駅周辺	①駅周辺歩行者、自転車交通事故件数 ※警視庁HPより	3ページ参照	結果未公表のため、調整中 (今後評価予定)	既存調査よりデータ取得不可のため、評価指標及びデータ取得方法等について再検討が必要	
						南口	○	○	○	○	○						
					ひばりヶ丘駅	北口	-	-	-	○	○	-					ひばりヶ丘駅周辺
						南口	○	○	○	○	○	○					
					保谷駅	北口	○	○	○	○	○	○					保谷駅周辺
						南口	○	○	○	○	○	○					
					東伏見駅	北口	○	○	○	○	○	○					東伏見駅周辺
						南口	○	○	○	○	○	○					
					西武柳沢駅	北口	○	○	駅構内	○	○	駅構内					西武柳沢駅周辺
						南口	○	○	○	○	○	○					
・自転車通行環境の整備（都市計画道路以外）		-		-													
・自転車利用者に対する交通安全教育		・自転車教室、高齢者の集い、新入学児童の集い、市民まつり		○		○											
③自転車利用ルール・マナー策実施状況		・自転車駐車場の整備（駐輪場面積・許容可能台数、放置自転車等の撤去や変換数の推移を把握）		○		○											
		・放置自転車対策の推進		・放置禁止区域に整理指導員を配置して、啓発活動及び撤去を実施		○		○									
				・広報、HPにて放置防止の呼びかけ		○		○									
				・放置自転車クリーンキャンペーンの実施		○		○									
		・自転車駐車場不足地域における候補地探し		○		○											
5 都市計画道路を補完する道路の交通環境改善の推進	①整備対象生活道路の事業着手、整備完了の延長割合	・整備対象生活道路の事業着手、整備完了の延長割合				未着手	未着手	②整備対象主要生活道路の歩行者、自転車事故件数									
		②整備対象地区の実施箇所割合				一部事業中 (向台町三丁目・新町三丁目地区地区計画関連道路事業)	一部事業中 (向台町三丁目・新町三丁目地区地区計画関連道路事業)										
6 生活交通が主な踏切の安全対策の推進	①対象踏切の事業実施箇所割合	・対象踏切の事業化				未着手	未着手	③踏切事故件数 ※運輸安全委員会HPより	0件 (平成25年)	0件 (平成26～30年)	→	事業内容の性質上、整備期間が長期間となるため、評価指標及び評価時期等について再検討が必要					
		・立体交差化の状況				未着手	未着手										

基本目標	基本方針	モニタリング指標				成果指標				次の評価方針 【計画改定時】		
		指標	実施項目	平成25年度 【計画策定時】	平成30年度	指標	平成25年度 【計画策定時】	平成30年度				
3 安全で利便性の高い 駅周辺交通環境の実現	7 未整備の駅前広場及び アクセス道路の整備	①事業着手割合 ②事業完了割合	駅名	田無駅南口	未着手	事業中 (駅前広場)	①駅前広場及び駅前広場にアクセス道路が整備された駅(箇所)の乗降人員の市内全駅乗降人員に対する割合 ※統計にしようより	61.9% (平成24年度)	62.3% (平成28年度)	▲	計画改定時に評価予定	
				西武柳沢駅北口	未着手	未着手						
				東伏見駅南口	一部整備済 (駅前広場)	一部整備済 (駅前広場)						
	8 拠点駅における 総合交通環境改善の推進	①各拠点駅ごとの事業実施状況	駅名	田無駅	未着手	一部事業中 (南口駅前広場)	②拠点駅における満足度	62.4%	整備未完了のため 評価しない	事業内容の性質上、整備期間が長期となるため、評価指標及び評価時期等について再検討が必要		
ひばりヶ丘駅				未着手	一部整備済 (南口駅前広場再整備)	66.8%						
保谷駅				一部整備済 (西3・4・12のみ事業中)	一部整備済 (西3・4・12のみ事業中)	64.9%						
4 将来都市構造を支える 骨格交通ネットワークの実現	9 骨格的幹線道路の 効率的・効果的整備	①対象都市計画道路の事業着手延長割合 ②対象都市計画道路の事業完了延長割合	・整備対象生活道路の事業着手、整備完了の延長割合	路線区間	1 西3・3・14	未着手	事業中	①代表道路(新青梅街道・青梅街道、武蔵境通り)における旅行速度 ※道路交通センサス結果(混雑時旅行速度)より	16.6km/h (平成22年度)	14.7km/h (平成27年度)	▲	計画改定時に評価予定
					2 西3・4・13	未着手	未着手					
					3 西3・4・20	未着手	未着手					
					4 西3・4・11	未着手	未着手					
					5 西3・5・10	未着手	未着手					
					6 西3・4・9	事業中	事業中					
					7 西3・4・26	一部事業中	一部事業中					
					8 西3・4・24	一部事業中	一部事業中					
					9 西3・3・3	未着手	未着手					
					10 西3・5・2	一部事業中	一部事業中					
	10 幹線的バス路線の 交通円滑化・交通安全対策の実施	①駅前広場の動線改善箇所	駅名	ひばりヶ丘駅南口	未着手	整備済 (平成29年度末)	①公共交通利用者数 ※パーソントリップ調査結果より	216,568人/日 (平成20年度)	現在パーソントリップ調査実施中のため調整中(今後集計予定)	▲	平成30年度調査データを使用(計画改定時の最新データ)	
				田無駅北口	未着手	未着手						
		②バスベイ整備箇所数	バス停へのバスベイ設置		未着手	未着手						
		・自動車交通量の多い踏切の対策		未着手	未着手							
・ボトルネック交差点対策		未着手	未着手									
11 バス交通の利便性の向上	①バス運行情報提供実施状況		未実施		実施	①公共交通利用者数 ※パーソントリップ調査結果より	216,568人/日 (平成20年度)	現在パーソントリップ調査実施中のため調整中(今後集計予定)	▲	平成30年度調査データを使用(計画改定時の最新データ)		
	②バス停のベンチ・上屋設置箇所数	はなバス	ベンチ	20	21							
			上屋	7	8							
		民間路線バス	ベンチ	13	16							
			上屋	38	38							
	③バス停ポール統一箇所数		未実施		未実施							
	④コミュニティバスの見直し実施状況		H25実施(料金改定)		H28実施(ルート見直し)							
	⑤乗継ぎ利便性の改善策実施状況		未実施		実施							
⑥バス利用普及啓発策の実施状況		実施		実施								
5 マイカーに過度に頼らず移動しやすい低炭素な交通環境の実現	12 歩行者・自転車空間の計画的整備推進	①新規整備都市計画道路の自転車空間設置割合 ②モデル路線の整備延長 ③整備済み都市計画道路の自転車空間設置割合 ④自転車利用に関するサイン整備箇所数	路線区間	①1 西3・2・6	事業中 (自転車歩行者道)	H25整備済 (自転車歩行者道)	②自転車空間確保区間 走行台キロ ※道路交通センサスより対象付近の同路線12時間交通量を元に走行台キロを算定	790台キロ 2,034台/12h (平成22年度)	1,008台キロ 2,596台/12h (平成27年度)	▲	既存調査よりデータ取得不可の区間があるため、評価指標及びデータ取得方法等について再検討が必要	
				①2 西3・3・3	未着手	未着手						
				③3 西3・4・5(五日市街道)	未着手	整備済 (ナビマーク)						
				③4 西3・4・8	未着手	整備済 (ナビマーク)						
				①③5 西3・4・11	未着手	未着手						
				③6 西3・4・13	未着手	未着手						
				①③7 西3・4・15	未着手	未着手						
				②8 西3・4・16	未着手 (モデル路線化)	未着手 (モデル路線化)						
				①③9 西3・4・17	未着手	未着手						
				①③10 西3・4・20	未着手	一部整備済 (ナビマーク)						
				③11 西3・4・22	未着手	未着手						
				③12 西3・4・23	H24整備済 (自転車レーン)	H24整備済 (自転車レーン)						
				③13 西3・5・4	未着手	一部整備済 (ナビマーク)						